

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

25年 10月 10日

都道府県知事
(市長) 殿

提出者

住 所 斎藤市山香町久木野尾2634の3
 氏 名 小原 春美
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 0977 78 0626

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	小原牧場
事業場の所在地	斎藤市山香町久木野尾2634の3
計画期間	H25 4/1 ~ H26 3/31

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	0.1 農業
②事業の規模	乳牛 140頭
③従業員数	3人 パート1人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	自ら堆肥化 13haの飼料畑に利用する

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（24年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	動物牛の死体
	排 出 量	2000 t	11頭 4.4 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	ナシ		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ふん便	牛の死体
	排 出 量	2000 t	4.0 t
(今後実施する予定の取組)			
	ナシ		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ナシ
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ナシ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（24年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物死骸の3,1人頭	牛の死体
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	2000 t	4.4 t
(これまでに実施した取組)			
ナシ			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3,1人頭	牛の死体
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	2000 t	4.0 t
(今後実施する予定の取組)			
ナシ			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（24年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
ナシ			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
ナシ			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 24 年度）実績】		
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)		
ナシ		
【目標】		
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)		
ナシ		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 24 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	ふん尿	牛の死体
全処理委託量	t	4.4 t
優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
再生利用業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)		
ナシ		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	4.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
牛の死体は化製場に委託し処理していく			
※事務処理欄			